Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度 開講キャンパス			宮崎キャンパス		開設学科	-		管理栄養学科	
科目名称	管理栄養士演習Ⅲ						授業形態	演習		
科目コード	306201	単位数	1単位	配当学年	4	実務経験教	ī 員	アクティブ ラーニング	0	
担当教員名	木村 志緒					•		ICT活 用	0	
授業概要	管理栄養士演習 I で学習した「社会・環境と健康」を振り返りつつ、「栄養教育論」分野を小分野ごとに系統的に学習していく。 (1) 15回分を木村が担当する。 (2) 「社会・環境と健康」分野の模試過去問を学習する(偶数回:毎回12問) (3) 「栄養教育論」分野の国試・模試過去問を学習する(奇数回:問題数は小分野のテーマごとに異なる)									
関連する科目	事前に、管理栄養士演習Ⅰおよび管理栄養士演習Ⅱを受講することが望ましい。 同時期に、管理栄養士演習Ⅳを受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	(1) 偶数回の進め方(社会・環境と健康) ①隣席と1つ以上空けて着席しておく (席指定はしませんが、正答率を成績に反映するので隣の人に回答が見えないようにしてください) ①教員の模試問題解説をきく(スライドは時間を取りますので必要であれば、スマホ等で撮影してください) ②翌々週分の問題配布 ③何も見ずに解き、回答番号をユニパで送信(国試を想定して20分以内で解くこと) ④まとめ資料を見たり、周囲と意見交換しながら解き、回答番号をユニパで送信 (翌々週の授業開始10分前までに) (2) 奇数回の進め方(栄養教育分野)									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 授業概要、授業計画、評価方法等について理解する。 翌週分の問題に取り組む。									
授業計画	社会分野 1									
【第2回】	問題例:従属人口指数の式を理解しているか?									
授業計画	栄養教育分野 1									
【第3回】	テーマ:オペラント、ヘルスピリーフモデル									
授業計画	社会分野 2									
【第4回】	問題例:健康寿命の性差を理解しているか?									
授業計画	栄養教育分野 2									
【第5回】	テーマ:トランスセオリティカルモデル									
授業計画	社会分野3									
【第6回】	問題例:地域医療支援病院の病床数を理解しているか?									
授業計画	栄養教育分野3									
【第7回】	テーマ:計画的行動理論、社会的認知理論									
授業計画	社会分野4									
【第8回】	問題例:介護医療院が施設サービスに含まれることを理解しているか?									
授業計画	栄養教育分野 4									
【第9回】	テーマ:ソーシャルサボート、コミュニティーオーガニゼーション									
授業計画	社会分野 5									
【第10回】	問題例:小児慢性特定疾病の認定事業の実施主体を理解しているか?									

授業計画 【第11回】	栄養教育分野5 テーマ:イ/ペーション普及、ヘルスリテラシー					
授業計画 【第12回】	社会分野 6 問題例:近年の年少人口の割合を理解しているか?					
授業計画 【第13回】	栄養教育分野6 テーマ:PPモデル、ソーシャルマーケティング					
授業計画 【第14回】	社会分野7 問題例:65歳以上の医療費が全体の6割を占めていることを理解しているか?					
授業計画 【第15回】	栄養教育分野7 テーマ:刺激統制等の行動変容技法					
授業の到達目標	①模擬試験の社会分野でコンスタントに6割以上正答できるよう力を身に付ける【知識・理解を応用し活用する能力】 ②課題提出の期限を守れるようスケジュール管理力を身に付ける【自らを律して行動できる力】 ③社会人となった時、管理栄養士として他者と連携し、協調・協働して行動できる力を身に付ける【協調・協働力】					
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)					
授業時間外学習【予習】	 学習時間:20~40分程度 翌週分の問題について、教科書や参考書を見たり、周囲の人と意見交換しながら解き、回答番号をユニパに送信する。 					
授業時間外学習【復習】	学習時間:20~40分程度 国家試験に向けて長期的に知識を定着させるための資料を作成したり、反復学習したりする。					
課題に対する フィードバック	・問題解説をスライドを用いて行う。 (スライドは必要であれば適宜、撮影可。) ・授業外でも質問等に応じる。					
評価方法・基準	以下の項目について相対的かつ総合的に評価する (1)社会・環境と健康分野・・・何も見ずに解いた回答番号による正答率の5割(7回分) (2)栄養教育分野・・・何も見ずに解いた回答番号による正答率の5割(7回分) [注] 定期試験は実施しない。					
テキスト	特に指定しない。					
参考書	特に指定しない。					
備考						